

建物耐震診断等概要表

1. 建物概要															
申込み件名	1. 耐震診断 2. 耐震補強計画 3. 総合判定 (耐震診断・耐震補強計画)														
設置者 (申込者)	()														
学校名、棟名 (番号)															
所在地															
区分、対象延床面積	校舎 屋体 その他 ()、									m ²					
建築年月、構造、階数															
基礎、地盤条件															
構造上の特徴	平面 (ほぼ整形、不整形) 立面 (ほぼ整形、不整形) 構造形式 () 極脆性柱 (有, 無)、下階壁抜 (有, 無)、柱抜 (有, 無)、PCa屋根 (有, 無)														
2. 診断方針															
診断法 (計算法)	第2次診断、第3次診断、屋体診断基準、応答解析、その他 (計算機、手計算)														
電算ソフト (作成者)															
診断実施者 (資格)	(一級建築士登録: 第 号) 受講番号:														
連絡先住所 (TEL/FAX)															
診断実施年月															
材料調査 (診断使用値)	コンクリート調査有, 無 ($F_c =$ kg/cm ²)、鉄筋 (鉄骨) 調査有, 無 ($\sigma_y =$ kg/cm ²)														
3. 診断結果 (C _t S _D またはqStを*欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入)															
	補強前				補強後				(調査および診断に関する所見)						
	Isx	*	Isy	*	Isx	*	Isy	*							
5F															
4F															
3F															
2F															
1F															
最小値															
4. 補強計画 (補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入)															
	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	免震他	(補強に関する所見)		
5F															
4F															
3F															
2F															
1F															
合計															
5. 付図 I (補強前後の代表階の①C-F関係、主要C値 (RC造)、または、②qSt-F値 (S造) を下記に記入)															
X方向 [階]						Y方向 [階]									
C値, qSt値						C値, qSt値									
1.0						1.0									
0.9															
0.8															
0.7															
0.6															
0.5															
0.4															
0.3															
0.2															
0.1															
0.0															
0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	F値	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	F値
6. 付図 II (地図に所在地を○印で記入し添付 (地図には活断層地図または地質図を使用するのが望ましい))															
7. 付図 III (建物全景写真 (敷地の周辺地形状況が分かるもの) を添付)															
8. 付図 IV (主要構面軸組図、主要階平面図、補強計画、補強詳細等の概要を別紙 (A4-2ページ以内) で添付)															